

CW232・CW232/V・CW422 (小型軽量 調歩同期シリアルアナライザ)

ユーザマニュアル Ver4.0 (WP-04-060630) 2006.6 データリンク(株)

はじめに

このたびは、[調歩同期シリアルアナライザCW232(V)/CW422]をご購入頂きまして誠にありがとうございます。この簡易マニュアルでは、製品をご利用頂く際の注意事項を解説しております。製品をご利用頂く前に必ず内容をお読みいただきますようお願い申し上げます。

以下の文章ではCW232/Vの(V)を省略して、CW232/CW422という表記のみに統一しておりますので、ご承知ください。

梱包内容

- * 簡易マニュアル (本書)
- * インストール CD-ROM
- * CW232/CW422 本体
- * USBケーブル

製品の梱包には細心の注意を払っておりますが、万一パッケージ内容に不足などありましたら、弊社営業部までご連絡下さい。

動作環境

対応OS	Windows98SE / Windows2000 / WindowsXP	
推奨環境	CPU	Intel Pentium / Celeron 800MHz以上
	メモリ	256M以上
	ハードディスク	300MB以上の空き容量
	USB	USB2.0(USB1.1でも動作は可能)
	その他	チップセット内蔵以外の外付けグラフィックカードを推奨します。 アプリケーションプログラムインストール時にCD-ROMドライブが必要です。

ご注意とお願い

プログラムの動作に必要なメモリ容量、ハードディスク容量等のご利用のシステム環境によって異なる場合がございます。

上記推奨環境にて、テストを行っておりますが、お客様の環境によっては、完全に動作を保証出来ない場合がございます。

製品の各種仕様は予告なく変更される場合がございます。予めご了承下さい。

USB及びRS232C/RS422以外のインターフェースを接続しないで下さい。

破損や火災等の原因となります。

湿気や埃、油煙、湿気が多いところには置かないで下さい。

火災等の原因となります。

暖房機の近く、直射日光の当たる場所等、高温の場所で使用したり放置しないで下さい。

火災等の原因となります。

内部に異物を入れたり改造したりしないで下さい。

火災、感電、怪我の原因となります。

濡れた手で触らないで下さい。

感電の原因となります。

万一、発熱を感じたり、煙が出ている / 変な匂いがする等の異常を確認した場合は直ちに全てのケーブルを外して使用を中止して下さい。お買い上げの販売店にご連絡下さい。

インストール方法

ドライバのインストール (Windows98)

添付のCD-ROMをPCにセット後、CW232/CW422を添付のUSBケーブルでパソコンと繋がします。
以下のダイアログボックスが表示されますので [次へ] ボタンを押します。



[検索方法を選択して下さい。]のダイアログボックスが表示されますので [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選択して、[次へ]ボタンを押して下さい。

以下のダイアログボックスが表示されますので [CD-ROMドライブ]を選択して [次へ]ボタンを押して下さい。



[次のデバイス用のドライバファイルを検索します。USB Serial Analyzer]のダイアログボックスが表示されますので、[次へ]ボタンを押して下さい。

[新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。]のダイアログボックスが表示されたら [完了]ボタンを押して、ドライバのインストールを完了します。

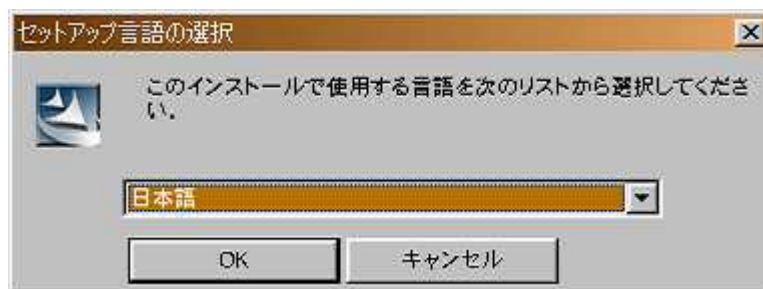
ドライバのインストール (WindowsXP)

添付のCD-ROMをPCにセット後、CW232/CW422を添付のUSBケーブルでパソコンと繋がします。以下のダイアログボックスが表示されますので [ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)] を選択して [次へ] ボタンを押します。ダイアログメッセージに従い [新しいハードウェア検索ウィザード完了]まで進めます。



アプリケーションプログラム CW232/CW422 のインストール

添付の CD-ROMをモニタを行う PCにセットしてインストールを行います。[Setup.exe]をダブルクリックするとアナライザアプリケーションプログラムのインストールが開始されます。



アプリケーションインストール開始の画面

上記画面よりインストールを行うオンライン Helpの言語を選択します。[OK]をクリックすると [インストールの準備]が行われ、先に進みます。[CW232/CW422用の InstallShieldウィザードへようこそ]の画面が表示されたら [次へ(N)]をクリックします。さらに以下のダイアログボックスが表示されます。

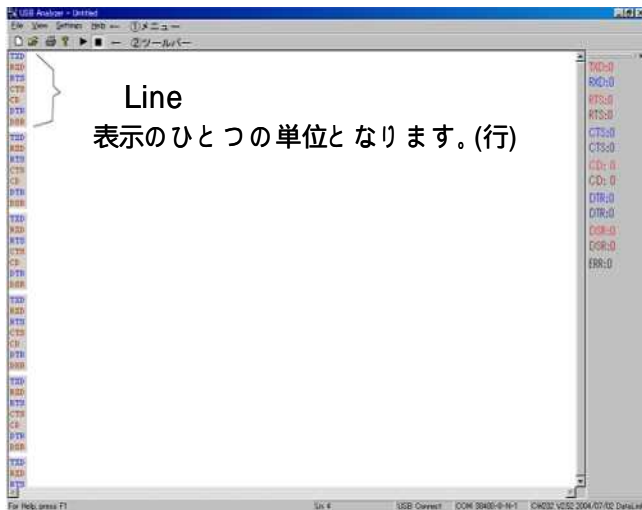
[セットアップタイプの選択]画面: 通常は、すべて(C)を選択します。

[プログラムをインストールする準備ができました]画面: [インストール(I)]をクリックするとインストールが開始されます。

[InstallShieldウィザードを完了しました]画面: [完了(F)]をクリックするとインストールが終了します。

スタートメニューまたはデスクトップアイコンより CW232/CW422を起動します。

起動画面及び各部の名称



Line
表示のひとつの単位となります。(行)

カウンタバー

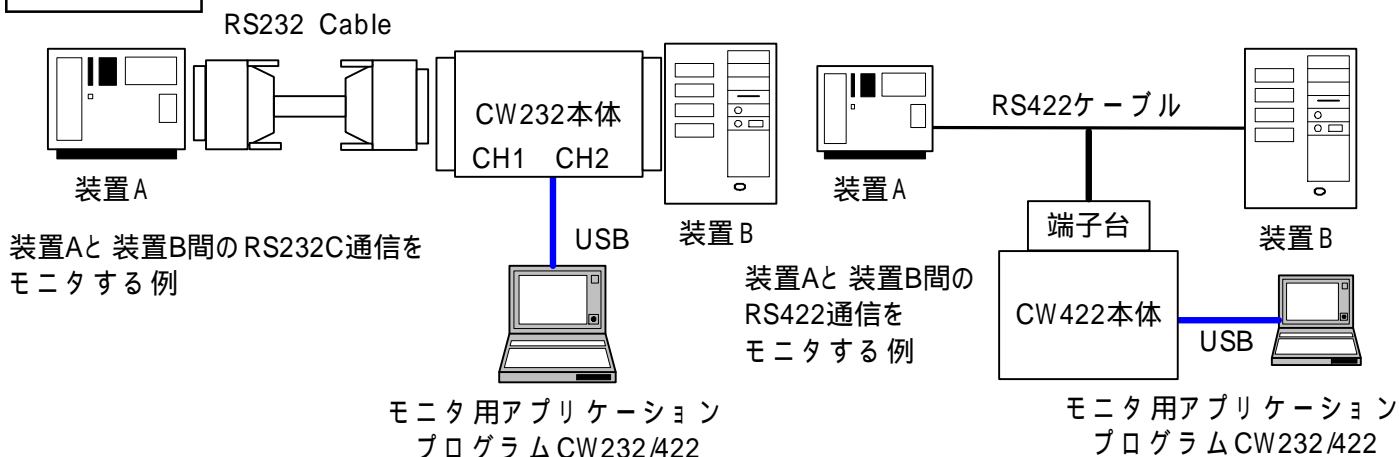
TXDにはCH1側に接続した機器からのデータ受信数が表示されます。RXDにはCH2側に接続した機器からのデータ受信数が表示されます。RTS (上) はRTSがBusyからReadyに変化した回数を表示します。RTS (下) はRTSがReadyからBusyに変化した回数を表示します。CTS~DSRの(上下)も同様の各制御信号の変化回数を表示します。ERRはパリティエラー等のエラー発生回数を表示します。

CW422はRTS等の制御線情報のモニタが出来ません。

ステータスバー

CW232/CW422との接続状態、通信速度、CW232/CW422FWのバージョン等を表示します。

接続方法



使用方法

上記例のように機器を接続後、PCにインストールした [アライザアプリケーションプログラムCW232/CW422] を起動します。

CW232/CW422をUSBケーブルで接続し、正しく動作した事を確認した後に、モニタを行う装置の電源を入れてください。

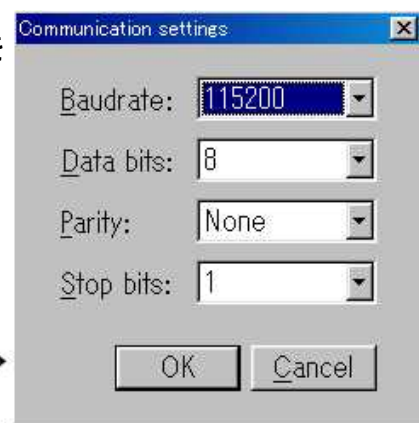
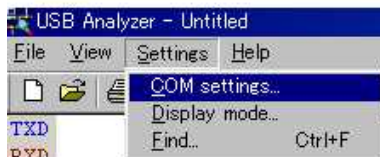
CW422を接続の際には、±の極性を正しくご接続ください。

RS232C/RS422 通信条件を設定します。

(CW232/CW422をUSB接続時には毎回設定が必要です)

メニュー [Settings]

[COM Settings]



通信速度は、50/100/110/150/200/300/600/1200/2400/4800/9600/14400/19200/28800/38400/57600/76800/115200 が設定可能です。

設定の通信速度でデータをモニタ可能かどうかは、PCの処理能力に依存します。PCの処理能力によっては取りこぼしの可能性があります。

データ長は 7or8 の指定が可能。パリティは None, Odd, Even が指定可能。STOPビットは 1or2 が指定可能です。

表示形式を設定します。メニュー [Settings] [Display mode]




モニタデータの表示形式 / 表示色等を設定します。
Dataにチェックがないと、データが表示されません。

データ受信時のエラー発生表示有無 / 表示色を設定します。Errorにチェックが無い場合は、エラー発生時にも表示されません。


RTS/CTS, DTR/DSR, CDの制御信号を表示の場合チェックします。
CW422は制御信号を収集できません。

タイムスタンプの表示 / 非表示、単位時間、表示色の指定を行います。Timeにチェックが無い場合、タイムスタンプは表示されません。

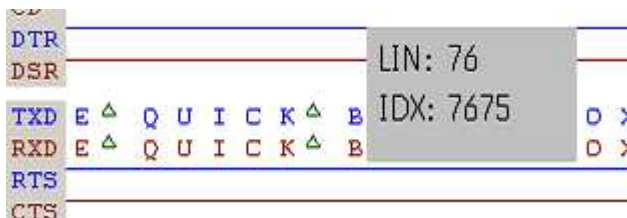
NO Displayにチェックをつけると、データ収集中のリアルタイムデータ表示を停止します。これによりPCの処理能力が上がり、取りこぼしの発生を抑制できる可能性があります。

モニタ開始ボタン  を押します。以降 RS232C/RS422上に流れるデータがモニタされます。PCのメモリ上に、モニタデータを保存します。保存可能領域は、PCの画像解像度等に依存しますが、約2048Line分の保存が可能です。これを越えるデータを受信の場合は、順次上書きされます。

注意: PCの画像解像度やメモリの使用状況、上記Display Settingsの内容、データ内容により多少前後します。

モニタ停止ボタン  を押すとモニタが停止します。モニタを停止して収集データの解析を行います。スクロールバーでモニタデータの表示位置が移動可能です。

モニタ停止後の収集データ解析時に、マウスポインタでデータを指しクリックすると指定データの位置が表示されます。

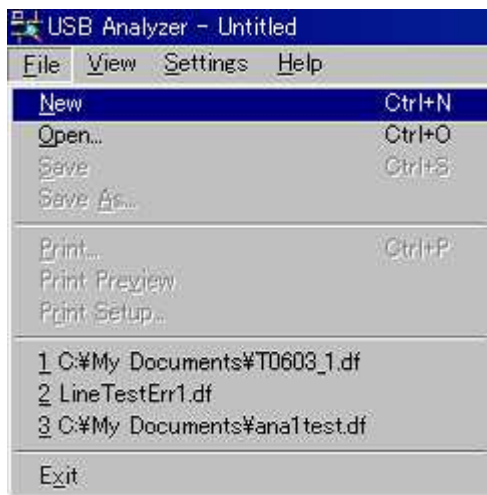


メニュー [Settings] [Find] で、モニタデータの検索が可能です。

メニュー [File] [Save] で、収集データのファイル保存が可能です。

メニュー [File] [Print] で、収集データの印刷が可能です。


収集データをクリアする場合は、メニュー [File] [New] を行います。



次のようなダイアログボックスが表示されます。



現在モニタされているデータを保存する場合は「はい(Y)」を保存しない場合は「いいえ(N)」を選択します。

再度モニタ開始ボタン  を押します。新規にモニタが開始されます。

その他の使用方法については、オンラインマニュアルをご参照下さい。

各種エラーメッセージ

アナライザアプリケーションプログラム CW232/CW422を起動時に、CW232/CW422本体が接続/認識されていないと以下のようなダイアログボックスが表示されます。




このメッセージが表示された場合は、アナライザアプリケーションプログラム CW232/CW422を一度終了させます。CW232/CW422と PCが正しく添付の USBケーブルで接続されている事を確認します。もう一度、アナライザアプリケーションプログラム CW232/CW422を起動します。

アナライザアプリケーションプログラム CW232/CW422を起動後に、USBケーブルが外れる等アプリケーションプログラムと CW232/CW422が通信出来なくなった場合に右のダイアログボックスが表示されます。



このメッセージが表示された場合は、アナライザアプリケーションプログラム CW232/CW422のモニタは停止します。

CW232/CW422と PCが正しく添付の USBケーブルで接続されていることを確認します。

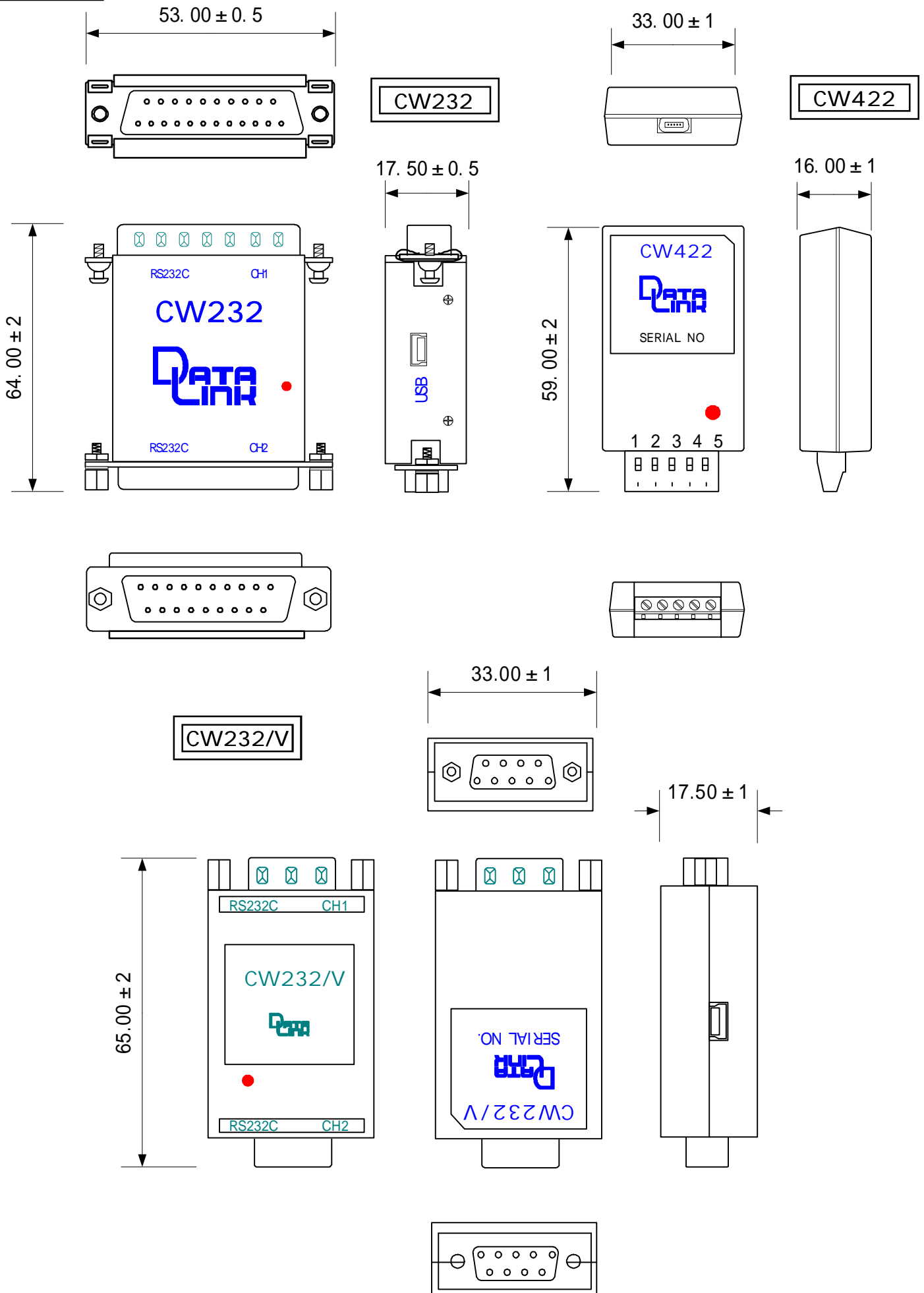
もう一度、アナライザアプリケーションプログラム CW232/CW422のモニタ開始ボタン  を押してモニタを再開します。

CW232/CW422は、添付の USBケーブルにて PCと接続されると、電源供給を受け起動します。この時、本体の上部にある LED は、赤点灯後、2～3秒後に、緑点灯となります。(正常時)このような LED の点灯とならない場合は、CW232/CW422の異常が考えられます。使用を中止して、弊社ユーザサポートまで、ご連絡をお願いします。

正常、モニタ中はこの LED は緑で点滅します。

モニタ中にパリティエラー等のエラーを検出時は、LED が赤の点滅となります。

外觀圖



保証規定

1. 当社製品は、当社規定の社内検査を経て出荷されておりますが、保証期間内に万一故障した場合、無償にて修理させていただきます。
お買い求めいただいた製品は受領後直ちに梱包を空け検収をお願いします。
データリンク製品の保証期間は、当社発送日より1カ年です。
製品管理はシリアル Noで行っておりますので、保証書は添付いたしておりません。故障の際にはシリアル Noをお知らせ下さい。
尚、本製品のハードウェア部分の修理に限らせていただきます。
2. 本製品の故障、又はその使用によって生じた直接、間接の障害について当社はその責任を負わないものとします。
3. 次のような場合は、保証期間中でも有償修理となります。
 - (1) お買いあげ後の輸送、移動時の落下、衝撃等で生じた故障及び損傷。
 - (2) ご使用上の誤り、あるいは改造、修理による故障及び損傷。
 - (3) 火災、地震、落雷等の火災、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障及び損傷。
 - (4) 当社製品に接続する当社製品外の機器に起因する故障及び損傷。
4. 次のような場合、有償でも修理出来ない時があります。
PCB 基板全損、IC 全損等、故障状態により修理価格が新品価格を上回る場合。
5. 製品故障の場合、出張修理は致しておりません。当社あるいは販売店への持ち込み修理となります。
6. 上記保証内容は、日本国内においてのみ有効です。

記載した商品名・会社名は、各社の商標または登録商標です。

このマニュアルの内容は、2006年4月現在のものです。仕様ならびに意匠等は品質向上の為予告なく変更することがあります。

本製品の技術的なお問い合わせは、弊社ユーザサポート課までご連絡下さい。

月～金 9:00AM～12:00PM 1:00PM～5:00PM

TEL 04-2924-3841

FAX 04-2924-3791

Home: <http://www.data-link.co.jp>

〒359-1118 埼玉県所沢市けやき台2-32-5

データリンク株式会社